



舞台芸術祭
「秋の隕石2025東京」
芸劇オータムセレクション

佐々木蔵之介ひとり芝居「ヨナ-Jonah」 「Mary Said What She Said」 ダミアン・ジャレ×名和晃平「Planet[wanderer]」

Performing Arts Festival: Autumn Meteorite 2025 Tokyo | TMT Autumn Selection

圧倒的クオリティの世界に出会える3作品

シルヴィウ・ブルカレーテ×佐々木蔵之介、ロバート・ウィルソン×イザベル・ユペール、ダミアン・ジャレ×名和晃平。
空前絶後の最強コンビ×3連発の極上ラインナップが実現！

数ある東京芸術劇場と海外アーティストのパートナーシップの中でも、ルーマニアのラドゥ・スタンカ国立劇場およびシビウ国際演劇祭、その看板演出家であるシルヴィウ・ブルカレーテとの間には、ひときわ強固で親愛に満ちた信頼関係が築かれている。佐々木蔵之介は、これまでブルカレーテ×日本キャストによる『リチャード三世』（2017）と『守銭奴 ザ・マネー・クレイジー』（2022）に主演してきた、そのシンボルとも言える存在だ。3回目のブルカレーテとのタッグとなる今回は、ルーマニアの劇作家・詩人によるひとり芝居に挑戦。ルーマニアのシビウを皮切りに、ハンガリー、モルドバ、ブルガリアでの上演を経て日本公演に至るという国際共同制作が実現した。

『ヨナ-Jonah』はルーマニアを代表する劇作家・詩人のマリン・ソレスク（1936～96）の代表作で、旧約聖書のヨナ（イオナ）の物語をベースに、巨大なクジラにのみ込まれたヨナが孤独の中で自己と対話を重ねてゆく、ユーモアと哲学的示唆に富む作品。大胆な発想でビジュアル的にも観客を驚かしてくれるブルカレーテと、かつて主な登場人物をひとりで演じる『マクベス』（2015）を実に楽しそうに演じてみせたひとり芝居猛者の佐々木による名コンビが、思いきり遊び心に

溢れた世界を創り上げてくれそうだ。

ひとり芝居猛者といえば、パフォーミングアーツ界の超大御所ロバート・ウィルソン演出による『Mary Said What She Said』のイザベル・ユペールは、世界最強クラスと言っていいかもしれない。名優の名をほしいままにするレジェンドの地位にあってなお、映像・舞台ともに次々と世界中の先鋭なクリエイターと新たな作品に挑む攻めの姿勢を貫き続けており、ベルギー出身のイヴォ・ヴァン・ホーヴェ演出『ガラスの動物園』のアマンダ役で来日公演（2022）も果たし絶賛されたのは記憶に新しいところ。

今回は、スコットランド女王として生まれた時から、従姉エリザベス1世に幽閉され反逆罪で処刑されるまでの、波乱に満ちたメアリー・スチュアートの生涯を女王の独白として語る90分。漆黒のシルエットのまま肖像画のように静止した状態で話し始める冒頭から、メアリー＝ユペールの顔が闇から浮かび上がるまでで約15分。白（明）と黒（暗）の強烈なコントラストによる雄弁な光のグラデーションは、照明の魔術師でもあるウィルソンの真骨頂だ。ユペールは不動のまま語り続け、時に機械仕掛けの人形のよう突然両手を広げたり、歩き出したりする。こ

れもウィルソンの厳密な振り付けに違いなく、制限の限りが尽くされた中で時間と空間を掌握してゆく彼女のスタティックな凄みには、能の至芸に近いものがある。ウィルソンとユペール、二人あわせると155歳。この、芸術表現において限界というものがない無敵コンビの結晶を日本で見届けることができるのは、僥倖以外の何ものでもない。

継続的にタッグを組み、ダンスや彫刻の領域を超えた表現を生み出してきたダミアン・ジャレと名和晃平。彼らもまた、並はずれたポテンシャルを引き出し壮大なオリジナル世界を構築する、振付家と彫刻家の大注目コンビだ。ジャレの度肝を抜く振り付けによるダンサーの動きと、名和が作り出す、物質と現象が交差する舞台美術が合体することで現出する風景は、人類としての遠い記憶を呼び覚ますような、原初的な蠢きと尊い美しさに満ちている。今回の『Planet[wanderer]』ではキラキラ輝く粒子を含む砂が印象的で、人間たちが自然と絡み合いながら、生の秩序を創りだしてゆくかのようなスケール。2020年に芸劇で上演されるはずだったがコロナ禍でかなわず、待ちに待った公演がついに実現する。

文：伊達なつめ（演劇ジャーナリスト）

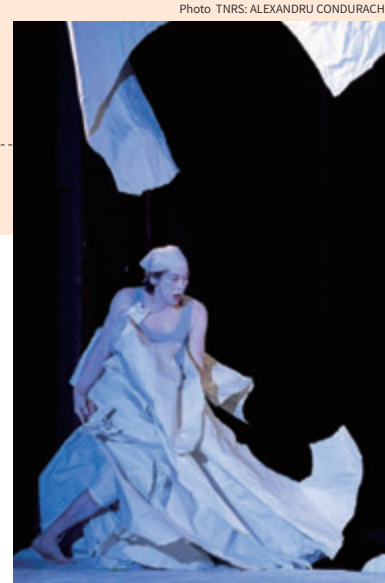
舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」

10月1日※～11月3日※※

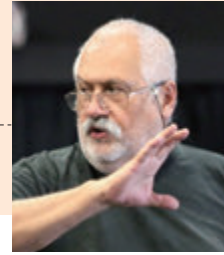
東京芸術劇場、GLOBAL RING THEATRE〈池袋西口公園野外劇場〉ほか



「秋の隕石」



「ヨナ-Jonah」



シルヴィウ・ブルカレーテ



佐々木蔵之介

©Peter Lindbergh



イザベル・ユペール

©Yiorgos Kaplanidis



ロバート・ウィルソン

「Mary Said What She Said」
10月10日金～12日日 プレイハウス

出演：イザベル・ユペール
演出：ロバート・ウィルソン
作：ダリル・ピンクニー
音楽：ルドヴィコ・エイナウディ

チケット一般発売：7月7日（月）



「Mary Said What She Said」

©Rahi Rezvani



「Planet[wanderer]」



ダミアン・ジャレ×名和晃平
「Planet[wanderer]」

佐々木蔵之介ひとり芝居「ヨナ-Jonah」

10月2日※～13日※※ シアターウエスト ※10月1日※プレビュー公演

原作：マリン・ソレスク 翻訳・修辞：ドリアン助川
演出：シルヴィウ・ブルカレーテ
舞台美術・照明・衣裳：ドラゴッシュ・ブハジャール
音楽：ヴァシル・シリー
出演：佐々木蔵之介

チケット一般発売：7月18日（金）



「ヨナ-Jonah」

©LUCIE JANSCH



「Mary Said What She Said」

©Rahi Rezvani



ダミアン・ジャレ

©Michael Somoroff



名和晃平

ダミアン・ジャレ×名和晃平
「Planet[wanderer]」
11月1日土～3日※※ プレイハウス

コンセプト・振付：ダミアン・ジャレ
コンセプト・舞台美術：名和晃平
出演：ショーン・アハーン エミリオス・アラボグル
カリマ・エル・アムラニ フランチェスコ・フェラーリ
ヴィンソン・フレイリー クリステアーナ・ギエブ
アストリッド・スウィーニー 湯浅永麻

チケット一般発売：7月7日（月）